

## Part 1 基本情報

## 1. モンゴルプロフィール

- (1) 正式名称 (和文) モンゴル国  
(英文) Mongolia
- (2) 政体連邦 民主制
- (3) 首都 ウランバートル
- (4) 面積 156万4116平方km
- (5) 人口 278万8000人(2010年統計年鑑)
- (6) 民族 モンゴル人(全体の95%)及びカザフ人等(5%)
- (7) 言語 モンゴル語
- (8) 宗教 チベット仏教(ラマ教)等(1921年の革命後は勢力衰退していたが、民主化(1990年以降復活。92年2月の新憲法は信教の自由を保障。)
- (9) 略史
- |       |   |
|-------|---|
| 1911年 | 辛亥革命、中国(清朝)より分離、自治政府を樹立                     |
| 1919年 | 自治を撤廃し中国軍閥の支配下に入る                           |
| 1921年 | 活仏を元首とする君主制人民政府成立(モンゴル革命)                   |
| 1924年 | 活仏(カツプツ)の死去に伴い人民共和国を宣言                      |
| 1990年 | 複数政党制を採用                                    |
| 1990年 | 大統領制に移行、初代大統領にP.オチルバトを選出                    |
| 1992年 | モンゴル国憲法施行(1月13日採択)<br>国名変更(モンゴル人民共和国→モンゴル国) |
| 1992年 | 第1回総選挙(与党人民革命党の圧勝)                          |
| 1993年 | 大統領選挙で初代大統領P.オチルバトを再選出(民主党员)                |
| 1996年 | 第2回総選挙(野党民主連合の大勝)                           |
| 1997年 | 大統領選挙でN.バガンバンディを選出(人民革命党员)                  |
| 2000年 | 第3回総選挙(野党人民革命党の圧勝)                          |
| 2001年 | 大統領選挙でN.バガンバンディを再選出                         |
| 2004年 | 第4回総選挙(人民革命党と民主連合党平等)                       |
| 2005年 | 大統領選挙でN.エンフバヤルを選出(人民革命党)                    |
| 2008年 | 第5回総選挙(人民革命党の大勝)                            |
| 2009年 | 大統領選挙でTs.エルベグドルジを大統領に進出(民主党员)               |
| 2011年 | 人民革命党が人民党に名前を変更                             |
| 2011年 | 旧人民革命党の一部の党员が人民革命党を設立                       |
- (10) 在留日本人 344人(2008年6月末現在 在留届提出済邦人のみ)
- (11) 気候 大陸性気候であり、年間を通じ雨量が少なく、空気が乾燥している。最も寒いのは1月(全国平均 -20 ~ -33度)、最も暑い時期は7月(全国平均 18 ~ 28度)である。夏から秋は一般に湿気のない爽快な日が多く、年間を通じ最も過ごしやすい季節となる。ちなみにモンゴル人は秋を好んでアルタン・ナマル(黄金の秋)と称している。冬は日中でさえ相当に冷え込むが、ウランバートル市内の主な建物には暖房が完備されているので室内にいるかぎり寒さの心配はない。
- 春(4~5月)は、突風、砂嵐、あるいは気圧の絶えざる変化に悩まされる。ウランバートルにおいて新緑が始まるのは、5月下旬頃からである。全域の年間平均気温は -2.9度であるが、

地域により異なる。年間降水量は、北部のハンガイ山脈および北方のハンガイ草原帯は400mm以上、ゴビ砂漠等南部は100mm以下、ハンガイ山脈の南のヘルタル草原帯はその中間の雨量。

[参考] 『外務省ホームページ各国・地域情勢』外務省  
『最新世界各国要覧 10訂版 2000』東京書籍

## 2. 業務のための基礎データ

### (1) JICA 事務所の概要(モンゴル事務所)

住所 : 7F, Bodi Tower, Sukhbaatar Square 3, Ulaanbaatar, Mongolia

郵便物宛先 : c/o Central P.O.Box 682, Ulaanbaatar 13, MONGOLIA

連絡先 : 国番号 : 976

市外局番 : 11

電話 : (976-11) 325939

FAX : (976-11) 310845

URL : <http://www.jica.go.jp/mongolia/index.html> (モンゴル事務所)

E-mail : [mg\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:mg_oso_rep@jica.go.jp)

勤務時間 : 9:00 ~ 17:30 (休憩時間 12:30 ~ 14:00)

休日 : 下記祝日と土曜日、日曜日

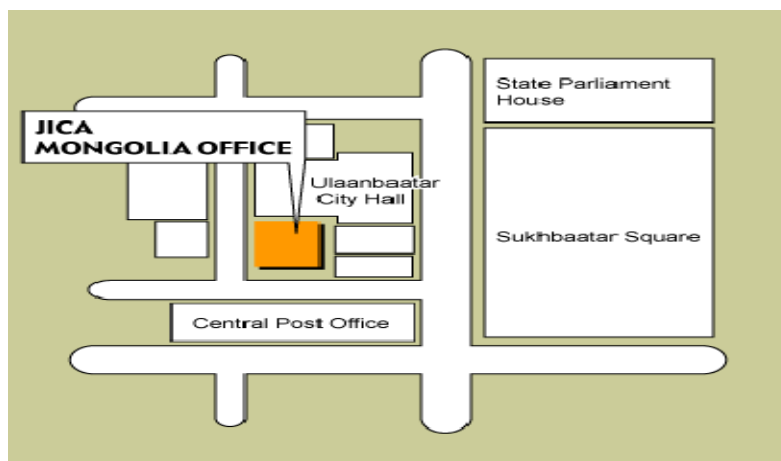
2011.1.3	年始休暇
2011.2.3	旧正月 (Tsagaan sar)
2011.2.4	旧正月 (Tsagaan sar)
2011.3.8	女性の日
2011.5.3	憲法記念日
2011.5.4	緑の日
2011.5.5	子供の日
2011.6.1	母子の日
2011.7.11	国家記念日 (Naadam)
2011.7.12	国家記念日 (Naadam)
2011.7.13	国家記念日 (Naadam)
2011.9.19	敬老の日
2011.10.10	体育の日
2011.11.3	文化の日
2011.12.23	天皇誕生日
2011.12.29	年末年始
2011.12.30	年末年始

事務所までの交通 : 【空港から】車で30分

【空港以外から】日本大使館から車で5分

鉄道駅から車で10分

## (2) JICA 事務所周辺地図



(3) 日本との時差、  
サマータイム

日本との時差：- 1  
サマータイム：なし

## (4) 祝日、

官公庁の休日：

祝日：1月 1日	元旦
2月 8日	旧正月(毎年異なる)
3月 8日	婦人の日
6月 1日	母と子の日
7月 11日	国家記念日
7月 12日	国家記念日
7月 13日	国家記念日
11月 26日	独立記念日

官公庁の休日：上記祝日と土曜日、日曜日

## (5) ビジネスアワー

UB 市組織：8:00 ~ 17:00 (休憩 12:00 ~ 13:00)  
官庁：9:00 ~ 18:00 (休憩 13:00 ~ 14:00)  
銀行：10:00 ~ 18:00 (休憩なし)  
商店：およそ 9:00 ~ 20:00

## (6) 言語

業務：モンゴル語(官庁によっては一部英語可)  
ホテル、買い物、食事：モンゴル語(大手ホテルは英語可)

## (7) 通貨

通貨：トゥグルグ(Tugrug)

## (8) 通貨レート

為替レート：1米ドル = 1300トゥグルグ(2011年10月モンゴル銀行レート)

## (9) 関係機関

【在外日本関係機関】

## ●日本大使館

住所：Olympic Street, Sukhbaatar District, Ulaanbaatar, Mongolia (Central P.O. Box 1011)

電話：(976-11)320777 FAX：(976-11) 313332

URL：<http://www.mn.emb-japan.go.jp/>

- (10) 有用サイト
- <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)
  - <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)
  - <http://www.mongoliatourism.gov.mn> (モンゴル政府観光局)
  - <http://www.parliament.mn/>
  - <http://www.pmis.gov.mn/>
  - <http://www.open-government.mn/>
  - <http://www.nso.mn/v3/>

## Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のあるウランバートルの情報を中心に掲載しています。

## 1. ホテル、住宅



## 1-1 ホテル

モンゴルの高級ホテルでは、英語が通じる。料金はシーズンによって変わるので、その都度問い合わせること。また、6月～8月末までは観光客で込み合うため、価格が割高になるとともに、外国投資の増加によりビジネス客の利用も増加傾向にあることから、早めの予約が必要である。赴任当初はホテルから徒歩で勤務先へ移動できるように、街の中心部にあるホテルを選ぶとよい。中規模ホテルではカードの表示があっても使えないことがあるので、事前に確かめる必要がある。また、エコノミーホテルはサービスが十分では無い場合や快適ではない場合が多い。日本人がよく利用するホテルは次のとおりである。(詳細はPart 3イエローページ参照)。



- ・ Ulaanbaatar Hotel(ウランバートル・ホテル)
- ・ Bayangol Hotel(バヤンゴル・ホテル)
- ・ Chinggis Khaan Hotel(チングリスハーン・ホテル)
- ・ Continental Hotel(コンチネンタル・ホテル)
- ・ Kempinski Khan Palace Hotel(ケンピンスキーハーンパレスホテル)
- ・ RAMADA Ulaanbaatar Citycenter Hotel(ラマダウランバートルシティセンターホテル)

## 1-2 住宅事情

住宅私有法の施行で、大半のアパートが住民の所有となった。ウランバートル市内の住民の約半分がアパートに、半分は「ゲル」という伝統的な住居に住んでいる。ゲル地区は電気があるが、下水道が完備されていない。最近では独立家屋の住宅建設も進んでいる。

賃貸物件を取り扱う主な不動産会社は複数あるが、一般的に外国人は友人や知り合いの紹介によってアパートを借りることが多い。家賃は敷地、部屋の大きさにより約月 400～4000 米ドルである。外国人専用のアパートは、建物の入口に鍵が付いているとともに管理人がいるなどセキュリティーが整っている所が多く、階段などの共有の場所も綺麗である。

一般的なモンゴル人が住んでいるアパートの管理は、各地域の住宅管理公社が行っており、公社によって公共部分の汚れが目立ち、階段の電球がなかったりするところもある。なお、ウランバートル市街は、それほど広くなく、アパート群は中心部にあるので、居住する地区による利便性に差はほとんどないが、近年、車両の増加による渋滞が激しくなっていることから、住居の選択においては、周辺道路や日常良く利用する道路の渋滞の状況について確認することを勧める。

### 1-3 住宅の探し方

不動産会社を訪ねるとすぐに物件を見せてくれる。不動産会社の情報に限らず、ほかの日本人の住宅の家主が、何軒も家を持っていることも多いので、知人や現地の人からの情報にも注意するとよい。代表的な不動産会社 3 社は次の通り。(詳細は Part 3 イエローページ参照)



- ・ “House Net” LLC
- ・ “Tenkhleg zuuch” LLC
- ・ “Osmo” LLC

有用サイト

<http://www.activzuuch.mn/>

<http://www.mongolia-properties.com/>

### 1-4 住宅選定上の留意点

- ・アパートの管理人がいること。
- ・ドアは二重で複数の施錠がなされ、のぞき穴が付いていること。
- ・鉄製の扉であること。
- ・車庫が確保されていること。特に市街の中心部での車庫探しは困難であるため注意すること。
- ・各部屋のセントラルヒーティングの効きがよいこと(冬の厳しい寒さを考慮)。
- ・固定電話が既設されていること(インターネットを利用する場合には、インターネット利用が可能な環境かどうかを事前に確認することを勧める)。
- ・新築のアパートは水の出が悪く、温水が出ないなどのトラブルが多い選定の際には留意すること。
- ・きちんとしたセキュリティーサービスがあること。
- ・酒に酔った人が集まるようなバーの近くを避けること。

### 1-5 住宅の契約

一般契約期間は1年～2年間である。家賃は現金払い、一括払いが好まれる。全額を前納しなくても、3カ月ごと、または月払いが可能である。多くは家具付きの物件であるが、付いていない場合は家主に手配を依頼するとよい。

### 1-6 ガス、水道などの手続きと管理

電気、水道代などは家主が立て替える場合が多い。電気、水道の故障は家主を通して直してもらう。また電気については、配電の線が細くショートしやすいので、大容量の電化製品の持ち込みは避けるべきである。

ゴミはアパートのダストシュートなど決められたところに捨てる。現地では、ガスは使用していない。

## 1-7 家電

### (1) 電圧

220V、50～60Hz

### (2) コンセント、モジュージャックの形

ヨーロッパ仕様 タイプ:Cが多い。プラグの形式は丸い2穴が主流。

### (3) 家電製品

ほとんどの電化製品は現地で購入できる。

## 1-8 その他

停電や断水(毎年6月から8月末まで冬準備時期で暖房システムの定期的な修理を行う)がしばしばある。停電時用の非常灯、ろうそく、カセットコンロ等を常備する必要がある。断水時の蛇口の閉め忘れから水漏れの恐れがあるので十分な注意が必要である。

## 2. 衣料、理容



### 2-1 衣料全般

#### (1) 一般事情

ウランバートルの年間平均気温は-2度であるが、夏には最高気温が30度を超える反面、冬は最低気温 - 30度を下回る。寒暖の差が大きいので、衣服の準備には気を配る必要がある。防寒着は現地で購入する方が安価である。

#### (2) 日本から持参した方がよい衣料

輸入衣料(韓国製、中国製)が販売されており、最近ではアメリカ及び欧米のブランド製品を売っているブティックがあちこちで見つけられるようになった。そのため、衣服の素材やデザイン、色等にこだわらなければ現地でほぼ全種の衣料を調達できる。しかし、購入可能な衣服の選択肢は多くは無いことから、気に入ったデザインの衣服等は日本から持参することを勧める。

#### (3) 現地で調達した方がよい衣料

ジャンパー、コート、ブーツなどの革製品、毛皮の帽子、マフラー、カシミアセーター、手袋などの防寒着類は日本よりも安く購入できる。またカジュアルウェア(ジーンズ、スウェットシャツなど)も現地で購入可。

#### (4) その他の留意点

冬期の室内は乾燥がひどく、衣服に静電気が溜まりやすいため、加湿器の購入や静電気除去などの対策を取ることを勧める。

### 2-2 礼装

#### (1) パーティー

スーツ、ワンピース、またはデール(民族衣装)を着用する。

## (2) 式典

モンゴルの祝祭日は、1月1日(正月)、2月中旬の3日間(旧正月)、3月8日(婦人日)、6月1日(母子の日)、7月11～13日(ナーダム際)、11月26日(独立記念日)である。また、配属先によっては機関の創立記念日を盛大に祝うところもある。

祝典での礼装はスーツ、もしくはタキシードである。女性は着物が一揃いあるとよいが、なくても問題はない。

## (3) 冠婚葬祭

スーツまたはデールでよい。

## (4) その他の留意点

民族衣装のデールを現地に1着作っておくと便利である。

## 2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

### (1) 洗濯

クリーニング店は多数あり、ドライクリーニングやしみ抜きを依頼できる。日本の機材を導入している店などの仕上がりは特に問題は無いが、一般的な店ではあまり期待できない。

洗濯機は全自動式と手絞り式が出回っているが、通常、賃貸住宅の備え付け家具にふくまれているので、特に購入する必要はない。洗剤や漂白剤は、ヨーロッパとアジアの輸入製品が豊富に出回っている。ウール製品専用の洗剤もある。外国人が利用している主なクリーニングにはMetro Expressがある。(詳細はPart 3イエローページを参照)



- ・ Metro Express Co.,Ltd

日本資本のドライクリーニング店もある。アイロン、電気洗濯機は入手可能であり、持参の必要はない。

### (2) 仕立て、修繕

民族衣装は多くの場所で仕立ててもらえる。紳士服、婦人服の仕立ても可能である。

革製品は工場あるいは個人の職人によって仕立ててもらえる。

靴の修繕は、街角の靴磨きで可能である。

### (3) 保管

湿気がないのでカビ対策は不要であるが、セーターなどに虫がつくことはあるので防虫剤はあったほうがよい。革製品は手入れを怠ると硬くなりやすい。

## 2-4 美容院、理髪店

ウランバートル・ホテルや、バヤンゴル・ホテルなどに、宿泊者用の美容院がある。

その他、町中の「ウスチン」と書かれている場所は殆ど美容院である。なかでも、高級レベルの美容院は次のとおり。(詳細はPart 3イエローページを参照)

## Yellow Page

- ・ Charming Beauty
- ・ Grease Salon
- ・ Smile Salon
- ・ Baigal Beauty and SPA

これら人気店の技術レベルは比較的安定しているが、日本に一時帰国した際に髪の毛を切ってくる日本人も多い。カット料金は、高級レベルで20,000～30,000Tg、市内5000～15,000Tgほどである。

## 3. チップ



## 3-1 チップ事情

## (1) 習慣の有無

チップの習慣はない。

## (2) 各種サービスに対するチップ

必要ない。

## 4. 食生活



## 4-1 外食

## (1) 一般事情

一部の高級レストランなどで10%の税(VAT:付加価値税)がかかる。観光シーズンの時期である6月から9月末については、事前に電話で予約をしたほうが無難である。

ウランバートルではモンゴル料理に加え、日本料理、中国料理、ロシア料理、韓国料理、メキシコ料理、タイ料理、アフリカ料理、さらにはピザやハンバーガーなどのファーストフード、バーベキューなどもあり、種類は豊富である。また、バー、ディスコも多数ある。ただし、酔っ払い客に絡まれたり、スリなどの犯罪被害を受けたりすることもあるので注意が必要。最近は深夜営業規制(夜中1時まで)がしかれているケースもある。

## (2) 飲食店

各ホテル内にレストランがある。主なレストラン、喫茶店は次のとおり。(詳細はPart 3 イエローページを参照)

## &lt;モンゴル料理&gt;

- ・ Modern Nomads Mongolian Restaurant(チェーン店で姉妹店が複数あり)

## &lt;日本料理&gt;

- ・ Tsuya Japanese Restaurant
- ・ フジサンシロウ(日本料理)
- ・ 石庭レストラン
- ・ やまと バー
- ・ 林泉堂 ラーメン屋

## Yellow Page

- ・ 桜 日本食レストラン
- ・ 鉄板焼き 焼肉屋

#### < 中華料理 >

- ・ Jin Di Da Jiu (金帝大酒店) Chinese Restaurant

#### < 韓国料理 >

- ・ Seoul Restaurant
- ・ Bewon Restaurant

#### < その他レストラン >

- ・ Grand Khaan Restaurant
- ・ Dolce Vita Restaurant
- ・ Los Bandidos Mexico and India Restaurant
- ・ Korchma Restaurant (ウクライナ・キッチン)
- ・ bd's Mongolian Barbeque
- ・ Hungarian Food
- ・ California
- ・ Galaxy Restaurant
- ・ Monet Restaurant
- ・ Ivy Restaurant
- ・ Square pub

## 4-2 食料

### (1) 一般事情

ウランバートルに関しては、地区ごとにスーパーマーケット、商店、食料品ザハ(市場)等が数多くあり、日常生活に必要な食料品と飲料の入手が可能。

近年、食材は輸入加工品も含め、かなり豊富に出回りつつある。ただし、食肉、野菜等については食品衛生の基準に満たしていない食品ザハもある。

なお、賞味期限が切れたものや鮮度の悪いものを販売していることもあるので、購入時には自分でよく確かめること。

### (2) 主な食品の購入可能な場所

#### < パン、めん類 >

パンは常時入手できる。モンゴル産の黒パン、韓国系の菓子パンなども出回っている。めん類ではモンゴルめんは一般食品店で購入可。スパゲティなどは一部スーパー、大手市場のみで販売。

#### < 米 >

ウランバートル市では比較的入手しやすい。中国米や韓国米が主流だが、時々日本米も出回っている。

#### < 肉 >

羊肉や牛肉が主だが、鶏肉や豚肉、馬肉も売られている。「骨付き」の量り売

り(kg 単位)が現地では一般的。韓国系スーパーでは挽き肉やスライス肉も販売されている。ハム、ソーセージ、ベーコンの食肉加工品は種類も豊富に出回っている。

#### <野菜>

ジャガイモ、タマネギ、ニンジン、ビートの根菜類のほか、キャベツ、トマト、キュウリ、もやしなども一年中見られるようになった。ウランバートル市内の一部食品市場(メルクーリザハ)では、市内近郊で栽培された野菜や北京からの輸入品の野菜(大根、白菜、ネギ、ピーマン、ナス、ホウレンソウ、ブロッコリー、カリフラワー、ニンニク、香菜など)も出回っているが、菜類をはじめ、真冬には野菜の流通量が減ることもある。

#### <牛乳・乳製品>

モンゴルでは「スーテイツァイ」と呼ばれるミルクティーを日常的飲む習慣があるので牛乳を多く使う。最近では箱入りのモンゴル製、ロシア製のミルクが販売されており長期保管が可能になるなど使い易い製品が多く販売されている。

乳製品については、モンゴルの伝統的な乳製品(馬乳酒、ウルム、アーロールなど)はウランバートル市内のスーパーマーケット、大手食品市場等で販売されている。ヨーグルト、チーズ、バターなどはモンゴル製品、輸入品も含め豊富に出回っている。

#### <果物>

輸入リンゴ、オレンジ、バナナは一年を通して出回っており、時期によってはイチゴ、キウイ、スイカ、モモ、ブドウなどが出回る。また、秋には地方で野摘みされたブルーベリーや「チャツアルガナ」と呼ばれるサージ、苺桃などが出回り、風物詩となっている。

#### <魚介類>

内陸国であるため魚介類は少ないが、スーパーマーケット、特にメルクーリザハには一年中冷凍魚を売る専用コーナーがある。ウランバートル市内一部店舗ではキャビア、イクラ、スモークサーモンなどのロシア食品や中国などのエビ、イカの冷凍食品を置いていることもある。

#### <調味料>

みそ、しょうゆ、みりん、だしの素など日本の調味料を入手できる店は「スカイ・プラザ」や「エブリデイ」などがあるが、品数は多くは無く高価。それ以外の調味料(塩、砂糖)は十分入手できる。食用油はロシア製、韓国製など豊富に出回っており、オリーブオイルもある。また、各種スパイス類もウランバートル市では輸入品が多く出回るようになっているが、質などにこだわる場合は日本からの持参が望ましい。

#### <酒類>

国内製品では特産品のアルビ(多種のモンゴルウオッカ)のほか、ドイツとの技術提携によるドラフトビールも出回っている。また、外国産、特にヨーロッパの酒

類も豊富で、ビール、ウオッカ、ワイン、ウイスキーなどひとつとおり揃う。

日本酒や韓国焼酎については一部の日本料理店、韓国料理店や高級スーパーなどで入手できる。

#### < 飲料水 >

水道水を煮沸して飲めばまず安全であるが、ミネラルウォーターが国内製品も含め、豊富に出回っている。

#### (3) 食料の入手

本格的な日本食品を販売している店はない。下記の店は日本人にも買いやすい商品を揃えている。

#### < 日本食品の入手先 >

##### 「メルクーリ」市場

所在地: スフバートル地区サーカスの右側

営業時間: 10:00 ~ 19:00

備考: ヨーロッパ等海外からの食品、スパイスなど殆どの食料品がある。日本の食材を扱っている店も入っていて、近郊で栽培しており日本料理にも使う野菜類も売られている。値段は高いが、みそ、しょうゆ、ポン酢、お茶、みりん、料理酒、スポーツドリンクなどを置いている場合もある。隣にあるミニイグライエージ・スーパーもおすすめ。

##### 「エブリデイ」スーパーマーケット

所在地: 支店 バヤンズルフ区、テレルジ行道の途中。支店 ナライハ区、テレルジ行道の途中。

営業時間: 10:00 ~ 20:00

備考: UB 市内 5 箇所に支店がある。日本食が豊富にある。

#### < 食料品市場(フンスニーザハ) >

市内の地区ごとにある。肉や野菜などの食料品が豊富でまた、ロシアから輸入されてきた海水魚などを売っていることもある。混雑時にはスリに注意。

#### < 食料品店(フンスニーデルゲール) >

市内のどこにでもある。「国営デパート」の 1 階も食料品売り場になっており、値段は少し安い。「NOMIN」、「MINII DELGUUR」食品店でも買い物ができる。

## 4-3 食器、調理器具

### (1) 食器、調理器具などの入手

冷蔵庫などの電気製品は、現地での入手が可能である。調理器具、食器類も現地での調達が可能である。(食器店の詳細は Part 3 イエローページを参照)

#### < 代表的な食器店 >



- ・ Tescoma チェコ食器店
- ・ Naran ショップ
- ・ New Tokyo 店

## (2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

基本的な食器、調理器具は現地で調達できる。なお日本から持参する場合、電圧が異なるので変圧器を使用する(モンゴルは 220V・50Hz、プラグはコンチネンタル C タイプが主流であることに留意する)。

## 5. 生活用品の購入



Yellow Page

### 5-1 家電製品

ほとんどの電気製品は現地調達が可能。主な電気製品店は次の通り。(詳細は Part 3 イエローページを参照)

- ・ Nomin Electronics
- ・ ELBA Shopping Center
- ・ BSB Electronics
- ・ PC mall

### 5-2 家具

殆どの家具は現地で購入可能である。基本的に輸入家具で個人営業も盛んになっている。必要ならば通信販売で購入できる。(家具店の詳細は Part 3 イエローページを参照)

< 代表的な家具屋 >

Yellow Page

- ・ Misheel Expo Center
- ・ Anun
- ・ Topmebel Center

### 5-3 日用品、雑貨

ウランバートル市、ダルハン市、エルデネット市では殆どの日用品と雑貨類を購入することが可能。上記以外の地方に住む場合は、事前に必要な物資をウランバートル市などで準備したほうが良い。

### 5-4 工具、素材

工具は日本ほど種類が豊富ではないが、基本的なものはひとつとおり揃えられる。ドライバー、のこぎり、かなづち、釘、ネジ類は値段も安く、Hermes、Jobi Shop、Euro Standart 等の建築工具、素材店で販売しているので、家電製品や家具の補修、修理も可能である。布地類、機材類はほとんど入手できる。

## 6. 金融機関



### 6-1 金融機関

#### (1) 銀行

国際機関や外国企業が一般的に利用する銀行は Trade and Development Bank、Golomt Bank、Khan Bank、Khas Bank である。外国人は外貨(米ドル)

口座を開くことができる。ただし、口座の種類に基づき、利息が付く口座と付かない口座がある。また、現金(外貨)引き出しには、銀行内規により0.3～0.5%の手数料の支払いを求められる。(銀行の詳細はPart 3イエローページを参照)

**Yellow Page**

- ・ Trade and Development Bank (TDB)
- ・ Golomt Bank
- ・ Khan Bank
- ・ Khas Bank

(2) 口座の開設と閉鎖

個人の口座としては普通預金口座の開設が可能。口座開設の場合、旅券の写し、3×4サイズの写真1枚、最低預金10～50ドルを持参して、銀行で所定様式を記入すれば開設ができる。口座の閉鎖については預金口座の閉鎖申請を提出するのみで閉鎖できる。

(3) 小切手

小切手口座については一般的に個人でも、企業でも開設可能。銀行から小切手を発行してもらえる。

(4) 換金方法

銀行または市内数カ所にある換金所で換金できる。換金手数料はない。現金を持っていけば換金できる。円、米ドル、ルーブル、元、ウォン、ユーロなどの換金が可能。但し、換金所によって多少レートの相違があるのと、小額紙幣での両替の場合はレートが悪い場合が多い。

## 6-2 クレジットカード

大手ホテル、商店、一部のレストランではVISA, Master Card, JCB等が使用できる。クレジットカードの表示があっても使用できないところが多いので、事前に確かめる必要がある。基本的に使用時に手数料はかからないが、まれに手数料を徴収される場合がある。また、カードから現金を下ろす時、3%の手数料がかかる。

## 7. 交通事情



### 7-1 交通手段

(1) 一般事情

市内の交通機関としては、バス、トロリーバス、タクシーがある。バスとトロリーバスは一律400トゥグリク(Tg)で、朝7:00から22:00過ぎまで運行している。バスが増え、混雑は多少緩和されたものの、車内ではスリに対する注意が必要である。

タクシーは走行メーター制で、1kmあたり500Tgであるが、ホテルからタクシーを呼ぶと1km分追加される。白タクはタクシーとほぼ同じ値段であるが、タクシーより安い場合もある。

市外へは鉄道、長距離バス、国内航空などの公共交通を利用する。鉄道は、中国、ロシアへ続く南北に1本、途中分岐してエルデネット市へ走っているだけである。

全国的に道路の舗装率が低いため、バスでの移動は快適とは言い難い。

国内航空便は、数県のアイマク(県)の中心まで週1~2便飛んでいる。

#### (2) 空港から市内への移動

チンギスハーン国際空港から市内までの距離は30km。バスとタクシーがある。

タクシーを利用する場合はモンゴル語のみとなるので注意。

#### (3) 自家用車を利用する場合

・道路通行は日本と逆に右側通行である。

・悪路が多いため、パンクの修理セットは常に携帯する。

・交通規則は人間優先に改正されたものの、まだ車両優先の傾向が強く、交通規則の違反が多い。

・路面に凹凸や穴がある。冬は路面が凍結して滑りやすくなる。

・運転ルールを守らない運転手が多いので細心の注意が必要。

#### (4) レンタカーなどを利用する場合

モンゴルでは最近、運転手付きを条件にレンタカーサービスを始めた会社も出てきている。主に韓国車を利用しており、車種も様々である。

・ E Oneレンタカー社

#### (5) 地図

英語版の地図もあるが、地方では舗装道路がほとんどなく、道路に標識がないので、地図は意味をなさない。実際には現地の運転手がいないと迷う可能性が高い。



## 7-2 交通事故、盗難

### (1) 対処方法

事故の場合は、最寄りの警察に通報する。移動携帯電話のネットワークが無い地方のソム等に事故があったら通りがかりの車に頼んで警察に通報をお願いする。警察が来るまで事故現場を動かしてはならない。事故現場の検分と事情聴取後、警察官の指示に従う。事故状況によっては、車輛をいったん警察に押収される場合もある。

ウランバートル市警察: 102

### (2) 救急病院

電話番号は「103」である。救急車で適当な救急病院へ運ばれることになる。

### (3) 車両の盗難、車上荒らし

ウランバートル市内で車輛盗難と車上荒らしは多くはないが、夜間、パッキング中の車のタイヤ、ミラー等の盗難件数が増加傾向にある。盗難防止のため、車はガレージに入れること(ガレージは寒さ対策の面からも必要である)。

### 7-3 交通違反

#### (1) 交通法規

右側通行には特に留意すること。駐車違反、シートベルトの未着用などは取り締まりの対象となる。また、交通警察から止まるように指示された場合は、速やかに停止し、免許証を準備して指示を出した警察官を待つこと。

#### (2) 罰金、罰則

警察官にはモンゴル語しか通じない場合が多いが、冷静に対応し、違反したことが明白であれば「罰金」5000Tg～10,000Tgを支払う。また、日頃から違反をしないように気をつけるべきである。

### 7-4 車の修理

#### (1) 部品

日本車を扱う修理・整備工場があり、部品交換については日本、シンガポールから新品及び中古車の部品を輸入することになる。

#### (2) 修理工場

修理自体はウランバートル市で可能である。車種により修理工場が異なる。  
(詳細はPart 3イエローページを参照)



- ・ Auto Plaza Co.,Ltd
- ・ Monnis Interntional
- ・ Mongolian Star Melshers Co.,Ltd
- ・ Zig Zag Auto Center
- ・ Forward Motors Co.,Ltd

## 8. 通信



### 8-1 電話

#### (1) 一般事情

1996年までモンゴル国では固定電話の Mongol Telecom 社が唯一存在していたがモンゴル国政府が行った移動通信事業の入札により日本資本が入った Mobicom 社が携帯電話事業を始めた。1996年3月以降、モンゴル国の通信界に固定式・移動式という言葉が入るようになった。

公衆電話については携帯電話が普及以来、ほとんど見あらず、中央郵便局内しか使われている場所がない。ホテル滞在の方はホテルの電話を利用することになる。

#### (2) 国内電話

一般固定電話から市内の固定電話への通話料金は、1分につき10Tg、携帯電話への通話料金は26～50Tgである。固定電話から市外への場合は、固定電話への通話料金は70Tg、携帯電話への通話料金は120～160Tgである。

### (3) 国際電話

固定電話から国際通話料金は距離によって異なり、0.35～1.4 米セント/分が加算される。日本へは 0.35 米セント/分。

上記価格は 10% VAT 込み価格である。

### (4) 電話会社

固定電話会社 1 社、携帯電話会社 5 社が活動を行っている。



< 固定電話会社 >

・Mongol Telecom Co.,Ltd

< 携帯電話会社 >

・Mobicom Co.,Ltd

・Skytel Co.,Ltd

・Unitel Co.,Ltd

・G Mobile 社

・Mongolia Telecom 社の F zone

携帯電話の使い方は基本的に、毎月利用した分を払う後払い方式とカードを購入して利用するプリペイド方式がある。後払い方式の場合、上記の携帯電話会社にて新規の契約をする必要がある。支払は現金及び振込で可能。プリペイド方式は契約締結は不要。カードは上記携帯電話会社のロゴが付いているキオスクなどで入手可能。

## 8-2 電信

### (1) 一般事情

ホテルのビジネスセンター、郵便局から送信可能。

・FAX 料金 (2011 年現在)

市外 300Tg/枚

海外 1,000Tg/分

### (2) インターネット

接続コネクターの形状は一般的に、日本と同じモジュージャックである。なお、大手ホテルでは部屋にインターネット接続環境が整っている。ウランバートル市内においてインターネットカフェが数多く存在していて、日本語による利用が可能になっている。インターネットカフェの営業時間は 10 時頃からとなっているが 24 時間の営業をしているところもある。利用料金は 1 時間/600～800tg。また、モンゴル日本センターではインターネットを利用することが出来る。原則的には利用時間は 1 時間である。

また、一部のレストランやカフェでは Wi-Fi が整備されており、インターネット環境はかなり改善されてきている。

最近インターネット専用のプリペイドカードの販売が始まり、短期滞在者についてはこれを利用する方法もある。また、インターネット接続プロバイダーが数社あ

り、申し込み同日にアカウントの取得ができるところがほとんどなので、当地での滞在期間に応じて、現地アカウントを利用することも可能。料金はプロバイダー、利用形態によって異なる。

家庭でインターネットを利用するには LAN ケーブルか無線を勧める。インターネットプロバイダー会社と契約を締結し、定期的に支払を行う。料金は速度やその他の条件により異なるが、例えば時間制限なしで 2mb ~ 4mb の速度であれば 20,000 ~ 30,000Tg/月程度である。

・代表的なプロバイダー

Mobicom 社	<a href="http://www.mobinet.mn">http://www.mobinet.mn</a>
BodiCom 社	<a href="http://www.bodicom.mn">http://www.bodicom.mn</a>
Micom 社	<a href="http://www.mongolnet.mn">http://www.mongolnet.mn</a>
ISC Mongolia 社	<a href="http://www.iscmng.com">http://www.iscmng.com</a>
Railcom Center 社	<a href="http://www.railcom.mn">http://www.railcom.mn</a>
Sansar 社	<a href="http://www.sansar.mn/">www.sansar.mn/</a>
Digicom 社	<a href="http://www.digicom.mn/">www.digicom.mn/</a>
Magicnet 社	<a href="http://www.magicnet.mn/">www.magicnet.mn/</a>

### 8-3 郵便

#### (1) 一般事情

国内郵便は、はがき、手紙ともに 550 トゥグリグであるが、所要日数はまちまちである。国際航空郵便は、日本まではがき 880 トゥグリグ、手紙 1,100 トゥグリグ、封筒は 50 ~ 240 トゥグリグである。日本までの所要日数は 1 週間程度。

街中には日本のような郵便ポストはなく、ホテルの受付に依頼するか、あるいは郵便局の投函口へ直接投函しなければならない。1 年間の私書箱設置料は 30,000tg である。

郵便物の発送については、小包は航空便、船便で送付可能である。また中央郵便局では、EMS (国際エクスプレスメール) も取り扱っており、日本から中 3 ~ 5 日程度で届く。

#### (2) 課税

DHL の段ボールで送る小包の引き取りは中身の確認がある。小包の内容欄、金額欄に入力した内容により空港の税関での検査に時間がかかる場合もある。

#### (3) 国際宅配サービス

代表的な会社は次のとおりである。(詳細は Part 3 イエローページを参照)



- ・ DHL 社
- ・ TNT 社
- ・ EMS
- ・ FedEx
- ・ UPS

## 9. コンピューター



### 9-1 ハード、ソフト

#### (1) 調達の方法

英語仕様のパソコン、関連部品の現地調達は可能である。日本語仕様の製品は注文輸入も含めて困難である。電気製品店には広く出回っているPCはDell, Lenovo, Sony, Toshiba, HP, Macであり、これらはシンガポール、台湾、中国などからの輸入品である。

#### (2) 使用の際の注意

電圧は220Vに対応するための変圧器(トランス)が必要であり、電流を安定させるための安定器、停電に備えたバックアップ電源があったほうがよい。トランスは現地調達可能。

#### (3) 修理

現地で購入した物品については、サービス・センターでの現地修理が可能である。日本から持参したパソコンは、機種によっては対応できない場合もある。PC修理会社はMCS Electronics社、Online社等がある。

## 10. 職場環境



### 10-1 職場環境、勤務条件

#### (1) 就業時間

月曜日から金曜日まで執務で、土曜日、日曜日は休日。業務時間は9:00～18:00まで(昼休みは13:00～14:00まで)。残業の習慣は無い。UB市組織は8:00～17:00まで(昼休みは12:00～13:00まで)。

#### (2) 有給休暇

初年から5年間までは15日間、6年目から18日間、15年目からは21日間。

#### (3) 執務室

各省庁および関係機関のビル内の一室で10～18平方メートル程度である。局長以上は殆ど個室となる。

#### (4) 通勤事情

タクシーやバスを利用しての通勤が一般的。

## 11. 出入国手続き



### 11-1 入国

#### (1) 空港施設概要

1階が到着ロビー、2階が出発ロビーになっている。入国審査等を受けた後の出口は1カ所なので、そこが出迎えポイントとなる。

#### (2) 入国手続き書類

滞在期間が30日以下の場合:

特になし

滞在期間が 31 日以上 90 日以下の場合：

入国後 7 営業日以内に「登録手続」が必要(持っている査証の種類や期間を確認し、滞在期間よりも短い査証しか無い場合には、査証申請も合わせて必要)

滞在期間が 91 日以上の場合：

入国後 7 営業日以内に「登録手続」、入国後 21 営業日以内に「滞在許可申請」が必要。(持っている査証の種類や期間を確認し、滞在期間よりも短い査証しか無い場合には、査証申請も合わせて必要)登録や滞在許可申請は、チンギスハーン国際空港の近くにある外国人登録センターが所管しており、同センターで手続きを行う必要がある。手続きにはパスポート、申請書、写真、ホロ-登録書(滞在許可申請時のみ)及び受入機関のレター、手数料やカード発行代金が必要となる(所要手続き日数は 5~7 営業日)。必要書類や手数料等は変更される場合があることから、適宜確認することを勧める。

### (3)入国審査

機内で渡される入国カードに必要な事項を記入し、空港到着後、待歩で空港建物内の入国審査カウンターへ移動する。パスポート、入国カードを係員に提示する。係員から訪問目的などの質問等を受ける場合もある。

### (4)税関検査

事前に機内で記入された税関検査カードを係員に提示する。税関申告書などのカードは無く、出口付近に立っている検査官の判断に応じて、荷物の確認などが行われる。なお、段ボールに入った荷物は開けられる可能性が高い。

### (5)空港内での留意点

荷物引き取りに時間を要することが多い(おおむね1時間程度)。飛行機到着時のロビー(出入口付近)は大変混雑するため、盗難などに十分注意する。空港内に医務室、警察、食堂、両替所、モンゴル国インフォメーションセンター等がある。

### (6)空港からの主な交通手段

バスとタクシーがある。バス停が少し離れているので、荷物が多いときには不便である。タクシーは常時いるとは限らない。また、モンゴル語ができないと利用は難しいため、事前に空港出迎えの便宜供与依頼をすることが望ましい。

## 11-2 出国

### (1)出国時の概要

チェックインカウンターでチェックインし、荷物を預ける(ゲート立ち入りは搭乗者本人しか認められず、チェックイン後はゲート外に出られないので注意)。出国カードに必要な事項を記入後、出国審査を済ませ、出発ロビーに進む。

なお、モンゴル国の伝統的なアンティーク、木材、動植物等を持ち出す場合、

事前に関係省庁からの許可書が必要。

(2)リコンファーム

最近は不要になっているが、MIAT(モンゴル航空)の規定では、出発の72時間前までに行う必要がある。

(3)チェックイン

2時間前。荷物を預ける際の重量制限は通常エコノミークラス20kg、ビジネスクラス30kgまで。超過した場合の料金は航空会社によって異なるので事前に確認すること。

(4)空港利用税

空港利用料は航空券代金に含まれている。

### 11-3 帰国手続き

(1)帰国時に必要な事務手続き

滞在許可を取得している滞在者が帰国(一時帰国を除く)する場合には、事前に外国人登録センターにて滞在許可の抹消手続きを行うことが必要であり、これを行わない場合は、空港の出国審査場にて罰金を徴収されるか、出国を拒否される場合がある。(なお、滞在期間が30日間以内の場合は、外国人登録センターでの登録が不要であるため、これには該当しない)

(2)車の処分

交通警察で名義人変更の手続きをする。

(3)家財道具の処分

現地で処分する場合、後任者や知人に渡すケースが多い。日本への輸送は陸送、空港の2つの方法がある。運送手続きは、民間企業か郵便での発送となる。

主な民間輸送会社は Tuushin、UB Trans、IFFC 社等である。

(4)住宅の明け渡し

家主と交渉して明け渡し時期などを決定する。国際電話等の契約は早めに解約し契約時に支払っているデポジットを受け取っておくほうがよい。

(5)外貨持ち出し規制

マネーロンダリング法により、500万 Tg または相当の現金を持ち出す場合には、所定の様式に必要事項を記載し申告する必要がある(入国時も同様)。

銀製品や狼の毛皮、化石、石、砂、また文化的または歴史的価値の高いものは、特別な証明書がないと出国時に空港で没収される。

## 12. 治安、 緊急時の心得



生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

### 12-1 暴動、クーデターなど

日本の外務省海外安全ホームページによりモンゴル国の危険情報及び概況を知ることが出来る。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html>?

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

### 12-2 強盗、盗難

#### (1) 一般的治安状況

置き引き、空き巣、窃盗、バスの中や市場でのスリなどがほとんどであったが、最近では強盗、暴行、殺人などの凶悪犯罪も増加の傾向にあり、注意が必要である。また、日本人の被害例としては次のようなものがあるので特に注意すること。

- ・バスの車内や市場で、ポケット、かばんを切られてお金を取られた。
- ・一時帰国中に自宅のドアを破られ、現金及び PC 等、電気機器を盗まれた。
- ・深夜、酔っ払いがからんできて突然殴りかかってきた。
- ・市場で写真を撮ろうとしたら殴られた。

#### (2) 住宅の防犯対策

- ・住居は 1 階を避け、扉は鉄製にするか、または複数の施錠とドアチェーンを付ける。
- ・貴重品は、鍵のかかるスーツケースなどに保管する。
- ・訪問者には前もって来訪時間を連絡してもらう。
- ・ノックに対してすぐにドアを開けず、用件、名前などを尋ねてから開けるようにする。
- ・長期間留守にするときは、信頼できる日本人に鍵を渡し、定期的に訪れてもらうよう依頼する。

#### (3) 市中での防犯対策

- ・外出時は派手な服装を避け、不必要な貴重品や現金は持ち歩かない。
- ・バッグは簡単に切ることのできない革製の丈夫なものにし、たとえ切られても、中のものが取り出せないよう、中身をまとめて袋に入れておく。バスや市場などでは両手で抱えるよう心がける。
- ・旧正月の時など酔っ払いを見かけたら、からまれないよう相手をジロジロ見たりしないようにする。からまれた場合は、相手が逆上しないよう激しい抵抗はせず、さりげなく人通りのあるほうへ移動し、警官、親子連れなどに話しかけるなどして注意をそらすよう努める。
- ・夜間の一人歩きはしない(JICA 事務所では、夜 10 時以降の不要不急の外出は避けるよう指導している)。

#### (4) 注意すべき場所、危険地域

人が多く混雑しているザハ等ではスリ等に注意する。

### (5) 被害時の心得

被害に遭ったら、警察(電話:102)、大使館に通報する。通報の際には、落ち着いて「自分の名前と身分」「現在地」「事故、事件の内容(誰が、いつ、どこで、何を、どうした)」「けがの有無、けがの程度、意識の有無」「通報者の連絡先と連絡方法」などをはっきりと述べる。

## 12-3 火災、風水害、地震

### (1) 一般的災害発生状況

ガスや石油ストーブなどを使用しないので、火災は起こりにくいですが、タバコの始末や停電中に利用したろうそくからの出火が年に数件起きている。家庭内で使用しているコンセントや延長コードの品質が悪く、火災の原因となることもある。6～8月には雨が多く、水害が出ることもあるが、被害はゲル集落に集中しており、アパート群ではさほど心配はいらない。

地震は、西部地方では頻繁に発生しているが、UB市をはじめその他の地方においても地震が起こる危険性がないとは言えないとされている。

### (2) 防災対策

タバコの火の始末に気をつける。保険会社はあるが、まだ信頼できるとはいえない。

### (3) 被災時の心得

火災が起きた場合は消防署(電話:101)に通報する。また、避難時にエレベーターを使用してはいけない。

## 12-4 緊急連絡先電話番号

警察:102

救急車:103

消防:101

交通事故:321008

## 13. 社交



### 13-1 風俗習慣

- ・ものを渡すとき(受け取るときにも)などは必ず「右手」を使う。
- ・馬に乗る際には、馬の「左側」から乗る。
- ・峠などにある石積み(オボー)では、旅行の無事を祈って時計回りに3回まわる。
- ・他人と足がぶつかった時は握手をする習慣がある。
- ・人の帽子を被っても、借りてもいけない。
- ・モンゴル人の頭に過失/故意で触ってはいけない。
- ・人を人差し指で指してはいけない。

### 13-2 パーティーでの留意点

お酒を受け取る際は、必ず左手を右肘に添えて右手で受ける。  
アルヒなど強いお酒があるので飲み過ぎないように注意すること。  
相手のことをよく知らない場合、モンゴル国内政治、選挙、法律、人の服装・化粧、  
様々な議論に関する話題は避けたほうが良い。

### 13-3 来客時の留意点

一般的にお客様をもてなすように接すれば特に問題はない。但し、泥酔状態  
の訪問者はトラブルの元になるので家には入れないこと。

### 13-4 訪問時の留意点

突然の訪問でもモンゴル人は親切に受け入れてくれるが、事前に訪問約束を  
したほうが良い。大きな手土産は必要ないが、日本のお菓子、日本製のお土産  
を持っていくと喜ばれる。

ゲルを訪問したときには以下のことに注意する。

- ・ゲルでは「アールツ・アーロール・ピヤスラグ」やモンゴル独特の乳製品「スー  
テイツアイ」などが出てくることが多い。その後、アイラグ(馬乳酒)やシミーン  
アルヒ(ウオッカ)などでもてなされるが、胃腸の弱い人、お酒に弱い人は無  
理をしないこと。
- ・嗅ぎたばこを差し出されたときは「右手」で受け取り、嗅いだあとも右手で相  
手に戻す。
- ・お酒は必ずゲルの主人が客の杯に注ぐ。訪問者が手酌で飲んだり、人へお  
酌をしたりしてはいけない。

### 13-5 禁止されている言動 (タブー)

人を直接指差す、人にバカと言って頭に触る、頭に手を置く(小さい子供には  
問題ない)、人を見ながら第三者にささやく、民族の飲食と料理について気詰まり  
になる言葉は失礼にあたる。プライドの高い民族なので、プライドを傷つけるよ  
うな言葉は慎むこと。

### 13-6 日本人会

モンゴルの日本人会は会員相互の親睦と福祉の増進並びに日本・モンゴルの  
友好親善を図ることを目的とし活動をしている。約140名が会員となり、年数回の  
総会に加えて盆踊りやハイキング等様々なイベントを催し、活動を行っている。  
随時入会申込み可能となっており、年会費は個人会費20\$(または相当額のTg)  
である。

### 13-7 JICA帰国研修員同窓会

モンゴルのJICA全研修員数は2,243人(2010年8月現在)。研修員同窓会は2000年5月19日に設立された。同窓会員数は551人(2010年8月現在)。主な活動は帰国研修員同士の交流促進、JICA事業紹介、技術協力関係行事に参加、モンゴル関係情報提供などである。

### 13-8 現地の人々との交流

休みの日に釣りやハンティング、バーベキューに誘われることがよくある。女性がハンティングに行くことは、モンゴルの習慣上、禁止されている。

## 14. 教育



### 14-1 教育事情

#### (1) 一般事情

モンゴル国の教育制度は6・3・3制がある。このうち9年間は義務教育である。9月に新学期が始まり6月まで授業がある。2008～2009学年から教育システムが1～6年生は小学、7～9年生は中学、10～12年生は高校、合計12年制のシステムへ変更した。基本的にモンゴル語で授業が行われているが、外国語(ロシア語、英語)で授業が行われる幾つかの学校もある。教育水準は必ずしも高いとは言えず、教員の人材育成が重要な課題となっている。

子弟の教育については海外子女教育振興財団に問い合わせるとよい。

< 海外子女教育振興財団 >

URL : <http://www.joes.or.jp/>

E-mail : [system@joes.or.jp](mailto:system@joes.or.jp)

・東京

住所 : 〒105-0002 東京都港区愛宕 1-3-4 愛宕東洋ビル 6階

電話 : 03-4330-1341

FAX : 03-4330-1355

受付時間 : 9:30～17:00(月曜日～金曜日、祝日・年末年始を除く)

・関西分室

住所 : 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 3-4-5 毎日新聞ビル 3階

電話 : 06-6344-4318

FAX : 06-6344-4328

受付時間 : 9:30～17:00(月曜日～金曜日、祝日・年末年始を除く)

#### (2) 現地校、外国人学校

インターナショナルスクールがアメリカ人の手によって設立された。幼稚園児から中学生までが通っている。教材はアメリカ通信教育用のものを使用している。2011年10月現在、7～8名の日本人の子供が通っている。

アメリカンスクール(ASU) : 2006年に開校。幼稚園児～高校生まで通ってい



る。授業料はインターナショナルスクールより安価。現在、1名の日本人が通っている。

一般の現地校への編入は可能であるが、モンゴル語での授業となるため、通学は困難。(インターナショナルスクール、アメリカンスクールの詳細は Part 3 イエローページを参照)

### (3) 幼稚園

インターナショナルスクールに幼稚園制度がある。

ウランバートル市の地域ごとに幼稚園がある。1.5～6歳が対象年齢、使用言語はモンゴル語。保育料その他:約6000～10000トゥグリグ。

## 14-2 教育関係施設

### (1) 図書館など

国立中央図書館、ウランバートル市立図書館があり、ともに閉架式である。閲覧には利用者証明書が必要である。証明書は、配属機関からの公文書があれば日本人子弟にも発行してくれる。(詳細は Part3 イエローページを参照)



- ・ 国立中央図書館
- ・ ウランバートル市立図書館

## 15. 家庭の使用人



### 15-1 一般事情

経済の発展とともに賃金格差が拡大しつつである。共働きの家庭または収入水準の高い家庭ではメイドやベビーシッターを雇用する状況が増えている。外国人家庭では家事を担う家政婦及び私用者の運転手を使用人として雇うことが多い。但し、外国語を話せる家事使用人を見つけることは困難である。

### 15-2 運転手

#### (1) 雇用

身元保証の意味から、また確実な連絡先を把握しておくためにも知人などから紹介を受けることを勧める。英語または日本語が話せることが望ましいが、そのような人材は少ない。

契約書には、賃金および支払い方法、勤務時間、休日・休暇、超過勤務、雇用期間を明記する必要がある。

#### (2) 日常管理

走行管理、車両に関する燃料管理、洗車、保守点検、整備など運転手が行う。

#### (3) 教育指導

現地の運転手は、スピードを出し過ぎる傾向がある。また、エンジンブレーキを使わないことが多い。事故を避けるためにも、スピードを出し過ぎないように、安全運転の指導することが大切である。

#### (4)その他の留意点

市内と地方では路面状況などがまったく異なる。特に夏は道が悪く、かなりの運転技術と、パンクや故障に対する処置能力が要求される。そのため、地方での運転を嫌がるドライバーもあり、自分の行動範囲を考慮してドライバーを選ぶ必要がある。

### 15-3 家政婦/夫

#### (1)仕事の種類と人数

料理、給仕、掃除、洗濯などを行う。幼児のいる家庭では子守と子供の面倒を見てくれる家政婦及びベビーシッターを雇っている場合もある。アパートに居住することが多いので、人数は1人で十分である。

#### (2)雇用

運転手同様、知人の紹介を受け面接をして採用を決定することが望ましい。賃金は交渉次第である。

#### (3)日常管理

意志の疎通ができれば問題はない。しかし、日本語や英語を理解する人材は少ないことから、雇用者側も多少のモンゴル語を理解しておく必要がある。

### 15-4 庭師、ガードマン

だいたいアパート住まいのため、庭師は必要ない。建物の入口が施錠されている住居、または管理人のいる住居であれば、ガードマンも必要ないと思われる。

ガードマンは、警備会社に委託することが多い。主な警備会社はIld Bambai Security、Tergel Tekh Security社等である。

## 16. メディア



### 16-1 新聞、雑誌

#### (1)現地発行の日刊紙

日刊紙は「Zuunii Medee」、「Udriin Sonin」、「Unuudur」の主な3紙がある。いずれもモンゴル語で記載されている。料金は約20\$で、四半期ごと中央郵便局に支払う。英語紙である「Mongol Messenger」、「UB POST」や日本語紙の「モンゴル通信」紙などもある。

また、ロシア語、中国語の週刊紙もある。

日刊紙の配布については中央郵便局に私書箱があれば入れてくれる。私書箱が無い場合は一番近い郵便支局の住所を様式に書いて係員に渡しておく。

#### (2)日本の日刊紙



OCS のサービスが利用できる。到着は 5～10 日遅れである購読料、申込先、電話、宅配の可否などについては各人で確認すること。（OCS の詳細は Part 3 イエローページを参照）

## (3) 欧米紙 / 誌

海外の雑誌の定期購読はできる。

## (4) 日本の雑誌、書籍

日本の出版物がモンゴル・日本センターで閲覧できる。

所在地: Sukhbaatar district, 国立大学第 2 校舎の左側

電話: 325123

**16-2 ラジオ**

## (1) ラジオ放送局

MRTV (Mongol Radio and Television) が放送を実施している。

## (2) NHKワールド・ラジオ日本 (ラジオジャパン)

< NHK ワールド・ラジオ日本問い合わせ先 >

NHK 国際放送局国際編成部

所在地: 〒150-8001 東京都渋谷区神南 2-2-1

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radio/program/index.html>

**16-3 テレビ**

## (1) 地上波放送局

MRTV (Mongol Radio and Television) を含め約 20 チャンネルを放送している。

## (2) 衛星放送、ケーブルテレビなど

アパート、ホテルによっては衛星放送を受信できる。NHK ワールド TV, BBC, CNN, DW, ESPN, Star Sport, Discovery, National Geographic Channel, Fashion TV, Cartoon Network, MTV の他、中国、韓国、ロシア 3~4 局、インド、ドイツ、フランス、スペイン、イタリア等の番組も見ることができる。

CATV 局が 3 カ所開局し、市内のほとんどのところで CATV が引けるようになった。アパートの建物にケーブルが引いてあれば、契約後 4~5 日で工事をしてくれる。視聴料は契約料約 20000Tg、月額 4000Tg。チャンネルは局ごとに少々  
の差異はある。

< NHK ワールド TV 問い合わせ先 >

NHK 国際放送局国際編成部

所在地: 〒150-8001 東京都渋谷区神南 2-2-1

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/top/index.html>

## (3) テレビ受信

テレビの受信方式は ME-SECAM 方式である。テレビはマルチシステムのも  
のが廉価で販売されており、日本からの持ち込みは不要である。現地で販売さ  
れているテレビ、ビデオはマルチ方式が多く、日本から持参したビデオを見る場  
合が多い。

## 16-4 その他

チンギスハーン空港場に情報センターが出来きたので、当センターでモンゴル関係情報を収集可能。

## 17. スポーツ、趣味、 語学学習



Yellow Page

### 17-1 スポーツ

<スポーツ施設>

#### (1) ゴルフ

- ・ UB Hotel Golf

#### (2) テニス、フィットネス

- ・ Orchlion フィットネス クラブ
- ・ SS-club フィットネス クラブ
- ・ Bella Vista-Zaisan フィットネス クラブ

#### (3) その他のスポーツ

一般的なスポーツ(卓球、サッカー、ボーリング、バレーボール、バスケット、レスリング、ボクシング、テニス)の実施が可能。また、季節によっては乗馬、釣り、スキーが楽しめる。なお、日本人会で定期的な催しものを行う場合もある(日本人会に直接問い合わせをすること)。

### 17-2 趣味

Tengis、Urgoo映画館で欧米の人気映画が見られ、若者でにぎわっている。スポット場所になる。週末に子連れの家族も見られる。

バレエや音楽演奏、漫才などの芸術活動はウランバートル市内の劇場で楽しむことができる。また、時々外国からの有名な音楽家や芸術団体が招待されてくる。そのほか、モンゴル民族舞踊、伝統音楽、西洋楽器、社交ダンス、釣り、手芸などの様々コースも楽しめる。

### 17-3 語学学習

#### (1) 語学学習施設

市内には現地向けの英語、フランス語、ドイツ語、中国語、日本語等の3ヶ月、6ヶ月、1年間のコースがある。

#### (2) 家庭教師

知人の紹介及び公募による。語学レベルにより料金は異なる。

## 18. 観光



### 18-1 地方旅行の留意点

外国人によるモンゴル国の地方間の移動は規制が無く自由であり、治安状況も比較的安定している。移動に際しては、地方の道路が舗装道路ではないこと

から、車両を運転手付で借りたほうが良い。

通常レンタカー代には運転手の日当やガソリン代が含まれており、1日50～100米ドル程度である。また、定期的な国内便もある。なお、治安情報については、日本の外務省海外安全情報(危険情報)サイトでも確認できる。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/>

## 18-2 主要観光地・保養地

日本の一般旅行ガイドブック(地球の歩き方)などに多数紹介されているので、利用すると便利。

## 18-3 旅行代理店

モンゴルには旅行代理店が多数あり、宿泊、ガイド、車輛手配等すべてを代行してくれる。そのなかで代表的な旅行会社は次のとおりである。



- ・ Juulchin社
- ・ New Juulchin社
- ・ Kaze Travel社

## 19. 私財の輸送、 引き取り、購入



### 19-1 家財道具

#### (1) 輸送会社

個人荷物: 輸送依頼業者に直接連絡を取り、輸送品名と空送か陸送かを伝えれば、担当者が荷物を受取に来る。輸送会社は Tuushin, Mongol Trans 等である。

#### (2) 輸入手続き

INVOICE, PACKING LIST, AIRWAYBILL等が必要である。税金を支払った上で荷物を引き取る。

#### (3) 輸入貨物の受け取り港

中国との国境、ザミンウーデなどになる。ウランバートルまでは輸送会社が運んでくれる。

### 19-2 自動車

#### (1) 一般状況

現地で購入できる車はロシア、韓国、日本、ドイツ、アメリカの新車・中古車などである。日本からの自動車類には輸入制限はないが排気量規制はある。当地の運転・交通マナーは良いとは言えず、特に日中に自ら運転することは容易ではないこともあり、日本から自家用車を輸入するメリットは少なく、当地において車両を購入又はレンタルすることを勧める。

## (2) 輸入手続き

個人での輸入手続きには時間を要するため、代理店を通すほうが無難であるが、現地運輸業者は日本からの連絡などが難しく、日本国内の運送業者についても、モンゴル向け個人輸送は高額でサービスも行き届いていない。現在では、自身が赴任後、現地代理店と家族(知人)などの協力を得て輸入手続きを行うことが一般的となっている。

### < 輸入手続きのフローチャート >

日本で前金を支払う(寒冷地仕様)→代理店→納車(ここまでに 2 カ月)→船積み→中国天津港で荷下ろし→貨物列車に積み換え(ここまでに 1 カ月)→中国・モンゴル国境で再度積み換え→ウランバートルの業者→電話で到着の報告(ここまでに 1 カ月)→税関手続き→引き取り→輸入書類を持って交通警察で自動車登録。

以上のように、手元に届くまでに平均 3~4カ月を要する。特に、6~9月の物資輸送は時間がかかる。

## (3) 現地での購入

購入可能な車両として、ロシア製乗用車、「ジープ」、日本の乗用車、4WDのほか、ベンツ・BMW・ジープ型車・韓国の現代・大宇の新車がある。

## (4) 自動車登録

所属機関の書類と、税関が発行した税関手続き終了の登録用の書類が必要である。また、交通警察で登録し、車検証明書を窓ガラスに張らなければならない。ナンバープレートは、各国大使館、UNDP 等は「赤地に白ナンバー」、その他は「白地に黒ナンバー」である。

## (5) 免許証取得

国際免許証の対象国では無いことから、国際免許証による運転は出来ない。日本の免許証からモンゴルの免許証へ書き換えることが可能(有料)なことから、当地で運転を希望する場合は日本の免許証を持参すること。

## (6) 保険、税金

現地の代表的な保険会社はMongol Daatgal 社 Bodi Insurance and Reinsurance Company Nomin Insurance Company、Nomin Insurance Companyである。

車検は年 1 回(10~15,000Tg)、4月に交通警察で実施される。

## 20. 地方都市



モンゴルでは 3 市 21 県がある。地方都市としては Darkhan, Erdenet が比較的に大きいが人口は 8~10 万人程度である。

### < ダルハン市概況 >

モンゴル第 2 の工業都市である。ダルハン市は新ダルハン旧ダルハンと分かれている。新ダルハンは住宅街になっていて、高層アパートが立ち並んでいる。

ダルハン市は、首都ウランバートルより北に約 250km 離れている。冬はウランバートルより寒い。人口は約 8 万 7 千人。ダルハン市に食肉工場、皮革工場、セメント工場、発電所などがある。

生活物資：ダルハン市はウランバートルに比べて空気がきれいで、大きなスーパーもあるし、ザハ(市場)など、色々な店があることから、日常生活に必要な物は大抵手に入る。

交通状況：市内の移動にはタクシーを使う。

列車はウランバートルまで 1 人あたり 1 等 15,300Tg、6~7 時間で到着する。バスは 1 人あたり 6000Tg で、3 時間程度で到着する。列車は時間が正確で振動が少ないので、特別の理由がなければ列車を利用したほうがよい。しかし、ダルハン駅は浮浪者が多いので、夜行に 1 人で乗るのは避けたほうがよい。

電気：停電はほとんどない。

水道：断水はほとんどないが、たびたびお湯が出なくなる。

通信：固定電話線を使ってインターネットを利用可能。ダルハンの郵便局からは電話、FAX を利用することができる。

携帯電話会社「Mobicom」、「Skytel」、「Unitel」の支店があり、携帯電話の使用は可能である。

郵便：ウランバートル~ダルハンで、2 日~1 週間かかる。

#### < エルデネット市概況 >

エルデネット ウールという銅鉱山が発見され、1974 年に工場は建ち街が造られた。エルデネット市はバヤンウンドゥル村とエルデネット村(駅側)が合わさって1つの市になっている。町のメインはバヤンウンドゥル村で、県庁や主要機関は全てここにある。東西 2 km ほどのメイン通りを中心に機関や商店、1~6 地区に分かれた住宅があり、小さく整頓されたきれいな町で、すぐそばに丘があり空気もきれいである。大きなスーパーやザハなどそれなりに色々な店がある。人口は 8 万 1 千人。

鉱山により経済的に潤っていることから、今のところ犯罪(スリや空き巣)も少なく比較的安全な町と思われる。

ウランバートルから 360 キロ離れ、鉄道(夜 20:50 発、翌日の 08:10 着)、舗装道路(車で 5 時間)で結ばれる。

生活物資：輸入製品等を含め種類豊富な生鮮食品が沢山置いてあるお店がある。年中出回っている基本野菜(ジャガイモ、にんじん、たまねぎ、キャベツ、ニンジン、にんにく)の他に、輸入野菜では、きゅうり、トマト、パプリカ、バナナも入手可能。また、不定期で、なす、白菜、大根、もやしなども出回り、春から秋にかけては、ネギやにら、菜っ葉なども購入出来る。

レストランは少なく、モンゴル料理のレストラン以外は、韓国料理、中国料理、ロシア料理のみ。

交通状況：メイン通り以外の道路は 2~3 つしかない。最近、車は多くなった。市

内の移動には基本は徒歩。タクシーは市内どこまで乗っても一律 500Tg / 人である。駅からメイン街までは遠く、マイクロかタクシーで 15 分くらい。料金はマイクロ 400tg / 人、タクシー 800tg / 人、タクシーによっては、大きい荷物(スーツケースなどの場合)代を取る場合あり。

外へのアクセス:各地への移動が可能。汽車、バス、マイクロバス、ロシアジープ、タクシーがある。ウランバートルまで毎日 18:25 発-6:00 着の汽車がある。料金は 1 等 20,300Tg / 人、2 等 4,500Tg / 人(どちらも汽車の中で毛布代 500Tg / 人、切符を事前予約した場合は手数料として 400Tg / 人必要)。バスは韓国の中古観光バスで、11,000Tg / 人、所要時間 6 時間半(休憩 30 分込)。ウランバートルまでの道は完全舗装。タクシーは、15,000tg。マイクロやタクシーは事故が多いため基本は汽車かバスで行くことになっている。ダルハンまではマイクロバスかタクシーで 2 時間半。ボルガンまではロシアジープ、タクシーのみ出ている。3,500tg / 人で 1 時間強かかる。他各地域までいける。

電気:停電はほとんどない。

水道:断水が起きやすい。お湯は出たり出なかったりで、5、6 月は暖房システム修理時期になる。冬は、夜になるとぬるくなることが多い。

通信:固定電話線を使ってインターネットを利用可能。郵便局からは電話、FAX を利用することができる。

携帯電話会社「Mobicom」、「Skytel」、「Unitel」、「G Mobile」の支店があり、携帯電話の使用は可能である。

郵便:手紙は 7~10 日かかる。町のはずれにある郵便局支店で、手紙や荷物を受け取ったり送ったりできる。

## Part 3 イエローページ

特に記載がない限り、JICA事務所のあるウランバートルの情報を中心に掲載しています。

## 1. JICA事務所

所在地	7F, Bodi Tower, Sukhbaatar Square 3, Ulaanbaatar, Mongolia
郵便物宛先	JICA Mongolia Office P.O.BOX 682, Ulaanbaatar 13, MONGOLIA
TEL/FAX	TEL: 976-11-325939 FAX: 976-11-310845
URL/E-mail	URL: <a href="http://www.jica.go.jp/mongolia/index.html">http://www.jica.go.jp/mongolia/index.html</a> E-mail: <a href="mailto:mg_oso_rep@jica.go.jp">mg_oso_rep@jica.go.jp</a>

## 2. 日本大使館

所在地	Olympic Street, Sukhbaatar District, Ulaanbaatar, Mongolia
TEL/FAX	TEL: 976-11-320777 FAX: 976-11-313332

## 3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL: 320777
警察	TEL: 102
消防	TEL: 101
救急車	TEL: 103

## 4. ホテル

\* シングル = S、ダブル = D

\* 使用できるクレジットカード(CC): A: American Express, D: Diners, J: JCB, M: MasterCard, V: VISA,

\* 提示料金はすべて2007年11月現在のものである。

## ■ Ulaanbaatar Hotel (ウランバートル・ホテル)

スヘバートル広場の左側
TEL: 320620 FAX: 324485
URL: <a href="http://www.ubhotel.mn">http://www.ubhotel.mn</a> E-mail: <a href="mailto:info@ubhotel.mn">info@ubhotel.mn</a>
使用できるクレジットカード: A, J, M, V その他: ビジネスセンター、ビリヤード、洋風料理のレストランがある。長期滞在、赴任当初の利用可。

## ■ Bayangol Hotel (バヤンゴル・ホテル)

ドラマ劇所の南側
TEL: 312255 FAX: 318869
URL: <a href="http://www.bayangolhotel.mn">http://www.bayangolhotel.mn</a> E-mail: <a href="mailto:info@bayangolhotel.mn">info@bayangolhotel.mn</a>
使用できるクレジットカード: A, J, M, V その他: ビジネスセンター、リフレッシュルーム(サウナ、マッサージ、美容院、フィットネス等)、ビリヤード等がある。 ・洋風料理のBayangolレストラン、モンゴル料理のOne Day of Mongoliaレストラン、インド料理のTaj Mahalレストラン、美味しいカクテルで有名なCasablancaレストランがある。

## ■ Chinggis Khaan Hotel (チンギスハーン・ホテル)

セルベ川沿い
TEL: 313380 FAX: 312788
URL: <a href="http://www.chinggis-hotel.com">http://www.chinggis-hotel.com</a> E-mail: <a href="mailto:reservation@chinggis-hotel.com">reservation@chinggis-hotel.com</a>
使用できるクレジットカード: A, D, J, M, V その他: ビジネスセンター、リフレッシュルーム、コーヒーショップ、Korean Air, Air Chinaの代理店、カンミアショップ、ドライクリーニング、レンタルカー、DHL、パブ、ホテルの西側にSky Shopping Centerがある。 ・Chingiss Khaan洋風・モンゴル料理レストラン、Mr.Wang中華料理レストランがある。

## ■ Continental Hotel (コンチネンタル・ホテル)

在モンゴル日本大使館の南側
TEL: 323829 FAX: 329630
<a href="http://www.ubcontinentalhotel.com">http://www.ubcontinentalhotel.com</a> E-mail: <a href="mailto:sales@ubcontinentalhotel.com">sales@ubcontinentalhotel.com</a>
料金: 料金(税金、朝食込み) S: 84米ドル, D: 112米ドル 使用できるクレジットカード: A, J, M, V

## ■ Kempinski Khan Palace Hotel (ケンピンスキーハーンパレス・ホテル)

東クロースロード、平和通り。
TEL: 463463 FAX: 463464
<a href="http://www.kempinski-ulaanbaatar.com">http://www.kempinski-ulaanbaatar.com</a> E-mail: <a href="mailto:reservation.ulaanbaatar@kempinski.com">reservation.ulaanbaatar@kempinski.com</a>
使用できるクレジットカード: A, J, M, V その他: ビジネスセンター、会議室、郵便発送サービス、チケットサービス、娯楽室、リフレッシュルーム等がある。 ・洋風料理のOasisレストラン、モンゴル料理のカラコルムレストラン、日本料理の桜レストランがある。

モンゴル-34

## ■RAMADA UB Citycenter Hotel (コンチネンタル・ホテル)

西クローズロード、平和通、MAX MALLショッピングセンターの北側

TEL:323829 FAX:329630

http://www.ramada.com E-mail:ramada@ubcitycenter.mn

料金:料金(税金、朝食込み)Std.single:135米ドル、Std.twin:165米ドル

使用できるクレジットカード:A、J、M、V

## 5.不動産会社

## ■House Net LLC

所在地:Zoos Goyol アクセサリー店の隣。在モンゴル日本大使館の南側

TEL:330271

販売・仲介、引っ越しサービス、内装インテリア、不動産関連情報等(ハウス、アパート)

## ■Tengkleg Zuuch LLC

所在地:第23ロシア学校の左側第39アパート。在モンゴル日本大使館の南側

TEL:310529 MOBIL:91115979

不動産関連情報等(車輦、アパート、ハウス、家具)

## ■Osmo LLC

所在地:チンゲルテイ区、ウルトツァガンサービスセンター第4棟3階。在モンゴル日本大使館の南側

TEL:310025、MOBIL:99251919

不動産関連情報

## 6.クリーニング店

## ■Metro Express

TEL:450789,305028

営業時間:09:00~20:00

市内各所にある。1回の洗濯は6,250Tg(洗剤料金込み)。色のついている服、黒服、カシミア服、子供服専用洗剤がある。ドライクリーニングやセルフ洗濯サービスもある。

## 7.美容院・理容店

## ■Chaming Beauty

Grand Khan IRISH Pubの2階

TEL:339999

営業時間:AM11:00~PM20:00

## ■Grease Salon

Brauhouse レストランの右側

TEL:313221

営業時間:AM09:00~PM21:00

## ■Smile Salon

国立デパートの南

TEL:322348

## ■Baiqal Beauty and SPA

TEL:336688

営業時間:AM10:00~22:00

## 8.レストラン・喫茶店

&lt;モンゴル料理&gt;

## ■Modern Nomads Mongolian Restaurant

子供芸術センター南

TEL:318744

営業時間:12:00~24:00(冬期~22:00)

美味しいモンゴル料理がある。

&lt;日本料理&gt;

## ■Tsuya Japanese Restaurant

ホワイトハウスホテル内

TEL:300673

## ■フジサンシロウ

フラワーホテル内

TEL:331109

	営業時間:11:00~22:00
■石庭	サンサル商業センター北側 TEL:458723、451361 営業時間:12:00~22:30 和室で日本料理を味わうことができる。
■石庭	Monnisビルの2F TEL:321334 営業時間:10:00~24:00
■林泉堂 ラーメン屋	旧Ard映画館のバス停の西側 TEL: 営業時間:10:00~24:00
■桜	Kenpinski Khaan palace hotel、2F TEL:463463 FAX:463464 営業時間:10:00~24:00 和室で日本料理を味わうことができる。
■鉄板焼き	Kenpinski Khaan palace hotel、2F TEL:463463 FAX:463464 営業時間:10:00~24:00
<韓国料理>	
■ソウルレストラン	国立公園内 TEL:329709 営業時間:12:00~24:00 韓国料理、日本料理、buffetの西洋料理がある。1階に美味しいパン屋さんもある。
■Bewon	スファートル広場、Central tower 3F TEL:77400400 営業時間:11:00~24:00 韓国料理がある。
<その他レストラン>	
■Grand Khaan Restaurant	ドラマ劇場の右側 TEL:339999 営業時間:11:00~24:00 外国人が多い。ビールの種類が豊富。
■Dolce Vita Restaurant	子供会館の隣 TEL:312211,315914 営業時間:10:00~22:00 美味しいイタリア料理のレストラン。
■Los Bandidos Mexico and India Restaurant	平和友好会館の南側ブロック TEL:318174、314167 営業時間:12:00~24:00 メキシコ料理、インド料理が楽しめる。
■Korchma Restaurant	チンギスハーン・ホテル東側のアパートの一角 TEL:453716、316651 営業時間:11:00~23:00 ウクライナ料理、ウクライナウオッカもある。
■bd's Mongolian Barbeque	ソウル通りナランショップの北側 TEL:311191 営業時間:11:00~23:00 アメリカ式のバーベキューbuffet。
■Hungarian Food	Tuushin ホテル内 TEL:325850

営業時間:09:00～22:00

■California

ナランショップの隣

TEL:319031

営業時間:11:30～23:00

洋風料理、理、日本料理、buffetの西洋料理がある。1階に美味しいパン屋さんもある。

■Galaxy Restaurant

NISSAN修理センターの北側

TEL:320199

モンゴル料理・欧米料理

■Monet Restaurant

スフバートル広場、Central tower 3F

TEL:310707

高級レストラン、UB市の風景が見られる。

## 9. 食器店

■Tescoma

Grand Office ビルの一階

TEL:96660957(携帯)

チェコ製の食器等がある。

■Naran Shop

ソウル通り

TEL:328841

ドイツ製のMWFブランドの食器、フランスのARCブランドのカップと皿等。

美味しい料理、VIPルームサービスがある。

■New Tokyo 店

TDB銀行本店の南側

営業時間:10:00～19:00

日本の100円ショップと提携しており、同様の商品が2倍の値段で購入できる。

食器と洗剤等の他、一部食料品もある。

## 10. 電気製品店

■Nomin Electronics店

国立デパートの3階

TEL:313232

営業時間:09:00～20:00

Toshiba, Sharp, Samsung, Philips, Panasonic等のブランド製品

■Elba Shopping Center

西クローズロードの北側

TEL:329090, 326418, 327848

営業時間:10:00～20:00

Akira, Sony, Panasonic, National, Sanvo, Sharp等のブランド製品

■PC mall店

ドイツ大使館の北側

TEL:311644

営業時間:10:00～20:00

Sony, Panasonic, Dell, HP, Sharp, Philips等のブランド製品

## 11. 家具店

■Misheel Expo Center

ハンウール地区

TEL:342631, 326418, 327848

営業時間:10:00～20:00

家具店が多数あるので、選択肢も多くある。

■Anun

ハンウール地区

TEL:345901

営業時間:10:00～20:00

大きな家具店の一つで、Ikeaブランドの家具等がある。

■Top Mebel

Tokyo通り

TEL:456155

営業時間:10:00～20:00

高級レベルの古典風な家具がある。

## 12. 金融機関

### ■Trade Development Bank

スヘバートル広場から右方約200メートル

TEL:322362、331133(Call center)

URL: <http://www.tdbm.mn> E-mail: [sanal@tdbm.mn](mailto:sanal@tdbm.mn)

海外送金、預金、外貨交換、クレジット・デビットカード、T/C発行、Money Gram、E-Banking、ATM等。

### ■Golomt Bank

スヘバートル広場の西南方

TEL:311971、311530(Call center) FAX:312307

URL: <http://www.golomtbank.com> E-mail: [mail@golomtbank.com](mailto:mail@golomtbank.com)

海外送金、預金、外貨交換、クレジット・デビットカード、Western Union、ATM、E-Banking、全種の銀行ローン等がある。Golomt銀行は本店及び地方支店を含め12店銀行がある。

### ■Khan Bank

ソウル通り

TEL:332333 FAX:70117020

URL: <http://www.khanbank.com> E-mail: [infokhan@khanbank.com](mailto:infokhan@khanbank.com)

預金、E-banking、ローン、クレジットカード、ATM、海外送金、Western Union等がある。

### ■Khas Bank

首相Amarの通り

TEL:318185、1888 FAX:328701

URL: <http://www.xacbank.mn> E-mail: [bank@xacbank.mn](mailto:bank@xacbank.mn)

預金、ローン、クレジットカード、海外送金、E-banking等がある。

## 13. レンタカー会社

### ■E one

空港、チンギスハーン・ホテルに受付デスクがある。

TEL:70150003、70150004、70150006

半日、1日間、1週間、1ヶ月のレンタルが可能。

預金、ローン、クレジットカード、海外送金、E-banking等がある。

## 14. 自動車修理工場

### ■Auto Plaza

ゾーンアイルの西南側

TEL:354920、354023

URL: <http://www.autoplaza.mn>

輸入新車、中古車の購入、部品注文、ボディ・エンジン等の修理が可能。

### ■Monnis International

チンギスハーン通り-25

TEL:311687

URL: <http://www.monnis.com> E-mail: [monnis@monnis.com](mailto:monnis@monnis.com)

Nissan車の購入、修理、部品注文等が可能。

### ■Mongolia Star Melshers

第5中学校の隣

TEL:318138

URL: <http://www.msm.mn>

Benz車の購入、部品注文、修理が可能。

### ■Zig Zag Auto Center

ソウル通り

TEL:318375

日本・韓国製車両の修理、部品注文

### ■Forward Motors

バヤンゴル区、第10地区、Erelビル

TEL:680252

日本・韓国製車両の修理、部品注文

## 15. 電話会社

< 固定電話会社 >

### ■Mongol Telecom

スヘバートル広場の西南側

TEL:314554

URL:<http://www.telecommonqolia.mn>  
 固定電話の唯一の会社。固定電話が必要な場合、本社に申請する。

#### < 携帯電話会社 >

##### ■Mobicom

中央郵便局の裏側  
 TEL:318115(0341)  
 URL:<http://www.mobicom.mn/index>  
 GSMネットワーク。携帯電話機は同社でも購入できる。番号は前払い式とプリペイド式がある。

##### ■Skytel

Bayanqolホテルの隣  
 TEL:319191、313136  
 URL:<http://www.skytel.mn/en>  
 SDMAネットワーク。携帯電話機は同社でも購入できる。番号は前払い式とプリペイド式がある。

##### ■Unitel

Rokmon ビル内  
 TEL:328888  
 URL:<http://www.unitel.mn/en>  
 GSMネットワーク。番号は前払い式とプリペイド式がある。

##### ■G Mobile

Mobicom本社の隣  
 TEL:333636  
 URL:<http://www.g-mobile.mn/en>  
 SDMA2000ネットワーク。番号は前払い式とプリペイド式がある。

##### ■Mongol Telecom F-zone

中央郵便局  
 TEL:70102444  
 URL:<http://www.telecommonqolia.mn>  
 SDMAネットワーク。携帯電話機は同社で購入できる。番号は前払い式とプリペイド式がある。

## 16. 国際宅配サービス会社

##### ■DHL

第1病院の南側  
 TEL:310919、313331  
 URL:<http://www.dhl.com>  
 書類か荷物かにより料金が変わる。日本へ0.5キロ～30キロ書類は46\$～409\$、荷物は66\$～409\$。

##### ■TNT

TEL:311655  
 URL:<http://www.tnt.com>  
 書類か荷物かにより料金が変わる。日本へ0.5キロ～30キロ書類は30\$～125\$、荷物は49\$～325\$。

##### ■EMS

TEL:313286、1613  
 書類か荷物かにより料金が変わる。日本へ0.1キロ～1.0キロ書類は18\$～44\$、3キロ～20キロ荷物は75\$～245\$。

##### ■FedEx

Tuushinホテル内  
 TEL:320591  
 E-mail:[FedEx@tuushin.mn](mailto:FedEx@tuushin.mn)  
 書類か荷物かにより料金が変わる。日本へ手紙は33\$、0.5キロ～20.5キロ荷物は50\$～255\$。

##### ■UPS

Nisora tower 1F  
 TEL:70157001、70150701  
 E-mail:[office@ups-express.mn](mailto:office@ups-express.mn)、URL:[www.ups-express.mn](http://www.ups-express.mn)  
 書類か荷物かにより料金が変わる。

## 17. 教育機関

### < 外国人学校 >

##### ■International School

Khan-Uul district, Olympic street, Four Seasons Garden  
 TEL:70160010、70160020 FAX:70160012  
 URL:<http://www.isumongolia.edu.mn> E-mail:[int.school.ub@gmail.com](mailto:int.school.ub@gmail.com)  
 授業料:年間8,000～10,000米ドル。入学申込み時に一括払いする。

---

**■American School of Ulaanbaatar (ASU)**


---

Khan-Uul district, Zaisan Hill 11, ASU.

TEL:345359

URL:<http://www.asu.edu.mn> E-mail:[managingdirector@asu.edu.mn](mailto:managingdirector@asu.edu.mn)

授業料:年間8,000～10,000米ドル。入学申込み時に一括払いする。

---

**18.図書館**


---

**■国立中央図書館**


---

ソウル通り

TEL:323100、325573

E-mail:[nat.lib@magicnet.mn](mailto:nat.lib@magicnet.mn)

利用時間:09:00～20:00

モンゴル語、英語、フランス語、ドイツ語、日本語、中国語

**■ウランバートル市図書館**


---

Sukhbaatar District, 2-th khoroo

TEL:327873

E-mail:[mcl-ub@magicnet.mn](mailto:mcl-ub@magicnet.mn)

利用時間:09:00～18:00

**■日本図書館**


---

TEL:327873

E-mail:[mcl-ub@magicnet.mn](mailto:mcl-ub@magicnet.mn)

利用時間:09:00～18:00

---

**19.新聞・雑誌の購読**


---

**■OCS**


---

URL:<http://www.ocs.co.jp>


---

**20.スポーツ施設**


---

**<ゴルフ>**


---

**■UB Hotel Golf**


---

Sukhbaatar square 12

TEL:322509 FAX:324485

URL:<http://www.ubhotel.mn> E-mail:[info@ubhotel.mn](mailto:info@ubhotel.mn) [ub-travel@ubhotel.mn](mailto:ub-travel@ubhotel.mn)

ゴルフ場はウランバートル市から68キロ離れたところ。9ホールで29\$, 18ホールでは56\$。

**<テニス、フィットネス>**


---

**■Orchlon フィットネスクラブ**


---

スフバートル区、オルチロン学校内

TEL:354326,354327

URL:[www.club.orchlon.mn](http://www.club.orchlon.mn) E-mail:[orchlonclub@mcs.mn](mailto:orchlonclub@mcs.mn)
**■SS Club フィットネスクラブ**


---

ハンオール区、スタジアムの近く

TEL:342269,345664

URL:[www.ss-club.mn](http://www.ss-club.mn) E-mail:[info@ss-club.mn](mailto:info@ss-club.mn)
**■Bella Vista-zaisan フィットネスクラブ**


---

ザイサン丘の近くのBella Vista 住宅区内。

TEL:77440505

外国人がよく使うクラブである。サウナ、エアロビクス、マッサージ付。外国人料金は1日30,000Tg

---

**21.旅行代理店**


---

**■Juulchin**


---

Bayangolホテルの裏側

TEL:312095 FAX:320246

URL:<http://www.iuulchin.com>
**■New Juulchin**


---

Sukhbaatar district, 結婚式宮殿の隣

TEL:319401 FAX:319402

URL:<http://www.iuulchinworld.mn/main.html>
**■Kaze Travel**


---

平和橋を渡って、南に向いていく道路の右側。

TEL:346020 FAX:346028

URL:<http://www.kaze-travel.co.jp>